

# 10専攻2コースから、学びたい工芸と進みたいコースを選ぶ。

TASKなら自分の将来を見据えて希望する学びが選択できます。

まずは10専攻の中から身につけたい工芸を選び、次に

「その技を究めるプロ」をめざすのか(工芸コース)、

「その技を生かすクリエイター」をめざすのか(工芸クリエイターコース)、

希望の進路(コース)を選択することができます。

それぞれのコースで、実習を中心とした実践的な教育を確立し、

実社会で活躍できる人材を育成しています。

## 10専攻

漆工芸	陶芸	仏像彫刻	金属工芸	京手描友禅
蒔絵	木彫刻	木工芸	竹工芸	和紙工芸



## 2コース

工芸コース	工芸クリエイターコース
京都でしか学べない最高峰の技術を継承し、工芸・ものづくりのプロをめざします。	工芸技術に加え、デザインやプロデュースを専門的に学び、次代の作家・工芸士・クリエイターをめざします。
<p><b>特長 1</b></p> <p>基礎から高度な技術まで習得できるカリキュラムで、各専攻にて何段階にも分けた課題を設定。個人の能力に合わせて課題をクリアしていくため、着実にプロの技術を習得できます。</p> <p><b>特長 2</b></p> <p>「将来は作家として活躍したい」「工房に就職して職人として力を発揮したい」といったように、一人ひとりの目的に合わせて、修業年限を選択することができます。</p> <p><b>特長 3</b></p> <p>伝統工芸から現代的なデザインまで幅広い学びを習得できるからこそ、伝統工芸の技を究めることも、伝統に発想をプラスして、新たなものづくりを発信することもできます。</p>	<p><b>特長 1</b></p> <p>デザインする、作る、価格を設定する、そして売る、という独立作家活動のための一連の流れや経験、ノウハウを把握し身につけるとともに、『自己プロデュース力』を磨きます。</p> <p><b>特長 2</b></p> <p>学外のコンペや公募展に積極的にチャレンジするなど、自分の感性と培った技術で作った作品を発信し、経験を積みみます。</p> <p><b>特長 3</b></p> <p>産官学連携事業として実施している企業や自治体との共同プロジェクトなどに優先的に参加でき、商品化やプロモーションなど、将来確実に役立つ実践力が身につきます。</p>

10専攻	
漆工芸専攻	P.31
蒔絵専攻	P.33
陶芸専攻	P.35
木彫刻専攻	P.37
仏像彫刻専攻	P.39
木工芸専攻	P.41
金属工芸専攻	P.43
竹工芸専攻	P.45
京手描友禅専攻	P.47
和紙工芸専攻	P.49

# 10専攻2コースから、学びたい工芸と進みたいコースを選ぶ。

2コース	1年次 基礎I	2年次 基礎II	3年次 応用I	4年次 応用II		
<b>工芸コース</b> ハイレベルな工芸技術を習得	取得可能な学位・称号・資格	■ 専門士 ■ 工芸士3級	■ 専門士 ■ 工芸士2級	■ 高度専門士 ■ 学士(大学卒業資格) ■ 大学院入学資格	▶卒業 ▶大学院進学	
	4年制 (高度専門課程)	修了制作 → 卒業制作				▶卒業 ▶大学院進学
	3年制 (専門課程)	卒業制作				▶卒業 ▶高度専門課程編入
2年制 (専門課程)	▶3年制課程編入 ▶高度専門課程編入 ▶グループ校 京都美術工芸大学[美術工芸学科] 3年次編入(編入試験あり) ▶修了					
			海外交流 (3・4年次) 海外提携校との海外交流に参加できるチャンスがあります。	展示会 (3・4年次) 国内はもとより、イタリアやフランスの国際的な展示会へ優先的に自分の作品を出展できるチャンスがあります。		
<b>工芸クリエイターコース</b> 工芸技術とデザインの融合を重視	取得可能な学位・称号・資格	■ 工芸士3級	■ 工芸士2級	■ 高度専門士 ■ 学士(大学卒業資格) ■ 大学院入学資格	▶卒業 ▶大学院進学	
	4年制 (高度専門課程)	修了制作 → 卒業制作				

※入学資格は高等学校卒業(見込)以上[年齢制限なし]

# 基礎から応用技術を段階的に習得。4年間で自分のものにする。

TASKは、伝統工芸士をはじめとする伝統工芸業界の名工から、日本の伝統を支えてきた技を直接学び、卒業時にはプロとして活躍できるだけの実力をつけることができる学校です。  
そのため、1・2年次では基礎技術を徹底して学び、3・4年次ではさらに高度な技術を習得。  
同時にデザイン力や幅広い知識が身につく体系的なカリキュラムを展開しています。

手を動かすことで学び、覚える。全授業の80%が実習・演習。

専門的な知識や理論は、実践に生かすことではじめて意味をもちます。TASKの学びの基本は実際に手を動かすことです。カリキュラム全体の50%は専門実習で、デザイン・演習科目を含めると実に約80%が実習・演習系の授業です。学生たちは常に課題に取り組み、一流の工芸士たちから指導を受け、腕と感性を磨いていきます。

他大学  
30%  
実習系授業

TASK  
80%  
実習系授業

## 基礎技術

伝統工芸の職人・プロとして活躍するために必要な基礎技術を徹底的に学びます。

**1**年次 基礎的な知識と技術の習得をめざす1年次。反復練習を徹底することで、身体に覚え込ませていきます。

**2**年次 身につけた基礎をブラッシュアップ。2年間で学んだ基礎技術の成果としてより高度な課題制作に取り組みます。

## 展開・応用

名工の講師陣より個別指導を受けることで、プロとしての技術と表現力をさらに磨き上げます。

**3**年次 習得した技術を応用し、使いこなせるようになるべく、修了課題を制作します。

**4**年次 4年間のものづくりを通して、社会性や忍耐力など精神的にも成長。自ら道を切り拓く即戦力としての活躍をめざします。

## 道具に対するこだわり。

作りたい形を表現するために重要なのは道具です。道具の手入れを学び特性を知れば、作業を思いどおりに進めることができます。TASKでは道具こそものづくりの基本と考え、まずは道具を作るところからスタートします。道具そのものを作ることから始める学校はTASK以外にほとんどありません。



TASKの各専攻で使用する道具はすべて実際の職人が使用する道具と同じもの。購入した道具の手入れも徹底して学びます。



### カリキュラム例(2年次)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	
工芸コース 2年	9:45~11:15	専門実習 I	専門実習 I	専門実習 I	造形演習 II	
	11:25~12:55					★美術デザイン演習
	昼休み					
	13:50~15:20	専門実習 I	専門実習 I	伝統産業論/ 経営学(前期)	★伝統芸術 II ★英語 II	教養科目
15:30~17:00	★は選択					
工芸 クリエイターコース 2年	9:45~11:15	専門実習 I	専門実習 I	専門実習 I	教養科目	
	11:25~12:55					教養科目
	昼休み					
	13:50~15:20	専門実習 I	専門実習 I	コンピュータ演習	英語 II デザイン概論 (後期)	工芸 ゼミナール III
15:30~17:00						



TASKは平日の8時~19時半、土曜日・日曜日・祝日や夏休みなどの長期休暇中も実習室開放日を設定。実習室を自由に使って、創作活動に励むことができます。

## 将来の可能性を大きく広げる幅広い学び。

### デザイン科目

デザイン論を体系的・論理的に学び、制作のための基礎知識、創造の源となるセンスを磨く科目。伝統工芸をひとつのアー  
トとして捉え、現代にふさわしい教育システムで多角的な視点を養います。



#### デザイン基礎演習

デザイン基礎演習では、体系的な側面と好みという感覚的な側面との関係を、講義と演習によって学びます。



#### 造形演習 I・II

Iでは主に対象物を多角的に捉える練習を繰り返し、IIではより複雑化、大型化する対象物の捉え方を身につけます。

### 選択科目

#### 造形デザイン

造形デザインでは、創造に必要な良い「発想」を導くためのさまざまな体験を通して、感性や洞察力を養います。



#### 日本画基礎

日本画表現の基礎である水干絵具による写生を通して、古来からの日本人の自然に対する感性を学びます。



#### 家具デザイン

家具デザインでは、製図に対する興味や研究心を喚起させ、知識・技能・造形美の基本的な要素を習得していきます。



#### 視覚伝達デザイン

見る人、使う人の立場を理解し、わかりやすく美しくデザインすることを、イラストレーションやシンボルマーク等の制作を通して養います。



#### イラストレーション基礎

制作を通してモノの見方や表現の仕方を学び、アイデアをカタチにする感覚を身につけ、現在の工芸で求められる新しいスタイルのものづくりを提案できる感性を磨きます。



#### 陶芸デザイン

図面の作成、原型の制作、石膏を利用した押し型成形。また、手びねりやたたらなどについて基礎から応用までを学習します。



※科目は変更になる可能性があります。

### 演習科目

伝統工芸に携わる者として、より幅広い教養とその世界観を広げる知識を身につけることを目的とした科目。  
伝統工芸と関わりの深い「書道」「茶道」「華道」、世界を見据えた「英語」から1科目を選択して学びます。

#### 伝統芸術I・II 書道

作品箱への題名・作者名の記述のため、伝統工芸を学ぶには書道は不可欠。基本的な技術を学ぶとともに、ものづくりに通じている書の心も学びます。

#### 伝統芸術I・II 茶道

表千家流のお点前で、しきたりや道具に触れることで、使い手の心を学ぶことができます。また陶器や漆器等、ものづくりのヒントにもなります。

#### 伝統芸術I・II 華道

池坊流で道具を用いて華道を体験することができます。道具の使い方や美学を知るとは、花器づくりなどにも役立ちます。

#### 外国語I・II 英語

世界に認められた日本のものづくり。グローバルに活躍し、自分の言葉で発信するためには英会話力を高める必要があります。

### 専門知識科目

伝統工芸を「文化」「芸術」「歴史」「社会」など、さまざまな視点から見つめることで理解をより深く、  
作品制作に生かすことを目的にしています。また、将来の独立・経営に役立つ知識も習得します。

#### 京都学

京都の歴史・文化・芸術・美術・伝統工芸など、総合的な知識を学習。また京都観光・文化検定も視野に入れた内容です。

#### 日本工芸史

本講義では、長い時を経て受け継がれてきた日本の美術工芸にスポットを当て、深く掘り下げて学びます。

#### 経営学

作品づくりを社会と結ぶ観点から、経営・マーケティングを学び、経営や財務に関する基本的な知識を身につけます。

#### 情報処理演習(集中)

コンピュータの基本的な知識について学習し、インターネットで自分の作品を紹介・発表するスキルなどを学びます。

#### 日本美術史

日本美術の歴史をたどることで、日本の伝統文化の成り立ち、またその作品の鑑賞・理解の仕方を身につけます。

#### 基礎専門知識学(集中)

京焼・清水焼、仏具工芸、木工、金属、竹、漆など、各工芸の成り立ちや現在の状況について学びます。

#### 伝統産業論

伝統工芸を担う者にとって必須の知識である伝統産業の概況や課題、展望について学習します。

#### 色彩学

私たちの生活の中にあふれる色彩のシステムや表現に応用する力を身につけることを目的とします。

## TASKでの学びの集大成「卒業・修了制作」

2020年度卒業生作品 (その他の卒業生作品は「卒業修了作品集2021」をご覧ください。)

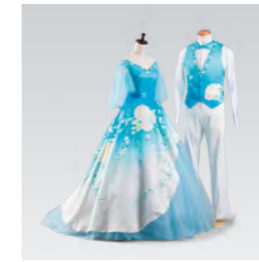
#### 幸せの蒼い鳥

最優秀賞  
近畿経済産業局長賞

和田 柗乃

京手描友禅専攻(工芸士2級)  
高門高校(奈良県)出身

SIZE: H1500×W2500×D2000



#### 金彩二重透彫香炉

優秀賞  
京都府知事賞

WANG Anni

陶芸専攻(工芸士3級)  
北京工業大学(中国)出身

SIZE: H200×W400×D400



#### 菓子籠 ~夕暮と暁~

優秀賞  
京都市長賞

中谷 謙太

竹工芸専攻(工芸士2級)  
瀬戸田高校(広島県)出身

SIZE: H300×W700×D330



#### 仇桜

優秀賞  
南丹市長賞

北村 青香

京手描友禅専攻(工芸士2級)  
久米田高校(大阪府)出身

SIZE: H1690×W1840×D150



#### 鞍馬山僧正坊と 牛若丸図時絵万年筆一式

京都府教育委員会教育長賞

緒方 勤太郎

時絵専攻(工芸士2級)  
福岡中央高校(福岡県)出身

SIZE: H105×W60×D40



#### 四天王像

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞

田杭 和憲

仏像彫刻専攻(工芸士2級)  
市立銚子高校(千葉県)

→日本工学院専門学校出身

SIZE: H700×W1400×D250



#### 追憶

京都商工会議所会頭賞

前田 真之介

木工芸専攻(工芸士2級)  
比叡山高校(滋賀県)出身

SIZE: H900×W570×D400



#### 組子細工二枚衝立『落花』

京都伝統工芸協議会会長賞

山田 さつき

木工芸専攻(工芸士2級)  
緑高校(愛知県)出身

SIZE: H1700×W1700×D310



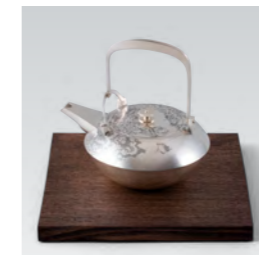
#### 合わせ金銚子一詠月姫一

一般財団法人京都伝統工芸産業支援センター  
理事長賞

須藤 智恵

金属工芸専攻(工芸士4級)  
秋田公立美術大学附属高等学院(秋田県)出身

SIZE: H160×W200×D200



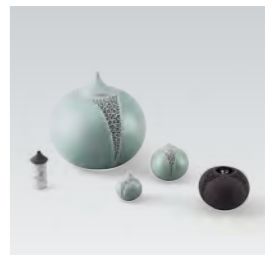
#### 種

一般財団法人京都伝統工芸産業支援センター賞

XU Conglin

陶芸専攻(工芸士3級)  
東北師範大学人文学院(中国)出身

SIZE: H350×W800×D800



#### 薄明

一般財団法人京都伝統工芸産業支援センター賞

坪倉 未也

漆芸専攻(工芸士3級)  
高砂高校(兵庫県)出身

SIZE: H175×W310×D270



#### 二人掛けベンチ

一般財団法人京都伝統工芸産業支援センター賞

人見 花乃

木工芸専攻(工芸士3級)  
北稜高等学校(京都府)出身

SIZE: H420×W1200×D380



# 一流の技と心を、一流の工芸士から学ぶ。

かつて伝統工芸の技を身につけるためには、師匠のもとに弟子入りする以外に方法がありませんでした。また、弟子入りをして手取り足取り教えてもらえるわけではなく、技術の習得には時間がかかりました。TASKでは一流の工芸士を講師として招き、学生一人ひとりを個別指導できる環境を整え、匠の技とともに、ものづくりへの心構えまでを直接学ぶことができます。



## 現代の名工 石田 正一

現代の名工は、卓越した技能を持ち、他の技能者の模範として、将来を担う人材の育成を進め、優れた技能を次世代に承継していくことを目的としています。

【石田 正一教授】  
1934年大阪市生まれ。18歳で先代の竹美齋に師事、修行を重ねて2代目を襲名。2018年に現代の名工に表彰される。TASKでは1995年の開校以来、ご指導をいただき、現在第一線で活躍中の竹工芸家を数多く誕生させている。

## 国・京都府・伝統工芸業界が支援するTASKだから実現できた講師陣。

### 現代の名工

卓越した技能を持ち、  
他の技能者の模範となる者

### 伝統工芸士

伝統工芸品の高度な  
技術・技法・知識を持つ者

### 京の名工

多年にわたり伝統産業に従事し、  
その振興と発展を支えてきた技術者

# 1名

# 31名

# 18名

### 代表的な講師陣(順不同)

陶芸専攻	長田 大	伝統工芸士
木彫刻専攻	渡邊 宗男	伝統工芸士・京の名工
	山本 孝子	伝統工芸士
	田尾 仁美	伝統工芸士
仏像彫刻専攻	齋藤 澄観	伝統工芸士
木工芸専攻	森 久杜志	伝統工芸士
漆工芸専攻	大家 忠弘	伝統工芸士・京の名工
	古今 祥之	伝統工芸士・京の名工
	狭間 實	伝統工芸士・京の名工
	兼松 俊明	伝統工芸士・京の名工

	番浦 肇	伝統工芸士
	長屋 綾乃	伝統工芸士
蒔絵専攻	平城 繁雄	伝統工芸士
金属工芸専攻	中村 佳永	京の名工
	中村 光男	京の名工
竹工芸専攻	石田 正一	現代の名工・京の名工
	三島 一郎	京の名工
	井上 定信	京の名工

京手描友禅専攻	荒木 泰博	伝統工芸士
	木戸 源生	伝統工芸士・京の名工
	駒井 達夫	伝統工芸士
	市川 完一	伝統工芸士・京の名工
	森 光男	伝統工芸士・京の名工
	橋爪 良和	伝統工芸士
	福本 義孝	伝統工芸士
	南條 隆	伝統工芸士・京の名工
	吉住 泰造	伝統工芸士
	木村 敏	伝統工芸士
	志賀 豊	伝統工芸士・京の名工

## 若手講師が技術習得や学生生活をきめ細かくフォロー。

TASKでは各専攻に業界で活躍する若手講師を配置しています。名工や匠からの高度な技術指導に対し、よりわかりやすくフォローしており、一人ひとりの技術習得を確実なものにできるようしっかりサポートしています。  
また、進路相談なども気軽にできる雰囲気、TASK卒業生の講師もいるので、安心して学校生活を送ることができます。



実習時のサポートから生活面の相談もお任せください。

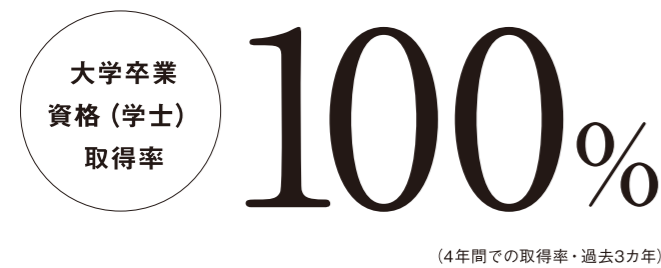


若手講師は同じ道を歩む頼りになる先輩です。

資格取得

# 技術＋大学卒業資格が取得できる。

高度な工芸スキルの習得とともに、TASKのカリキュラムに放送大学の科目を組み込み、4年間で大学卒業資格を取得できる独自のシステムを用意しています。就職活動時には“大卒”見込みとしてアピールできます。



## 教員免許取得の道も拓けます。

TASKの4年制(高度専門課程)を卒業すると、他大学の大学院進学も可能です。教員免許取得希望者は、国立鳴門教育大学大学院に進学し、3年間学ぶことで教員免許を取得することもでき、教員免許の中でも最高位の専修免許の取得をめざせます。  
※専修免許とは、法律上、教頭や校長になるために必要な免許です。

## 身につけたプロの技術で資格を取得

卒業後に取得をめざす資格

### 伝統工芸士

本校卒業生から続々誕生! 現在 **23名** ※2021年3月時点

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会が認定し、伝統的工芸品の高度な技術・技法・知識を持つ者に贈られる称号。後継者の育成や講習会の講師を務めたり、振興事業などに参画することができます。

実務経験12年以上 本校での在学期間が実務経験期間として認められます。

### 京もの認定工芸士

認定者 計157名中、**41名**が本校卒業生! ※2021年3月時点

京都の伝統産業を支える技術の継承と、人材育成を図るため、京都府伝統と文化のものづくり産業振興条例に基づき、京都府知事が授与する称号。京もの指定工芸品の製造に携わる工芸士を対象としています。

実務経験5年以上 本校での在学期間が実務経験期間として認められます。

在学中に取得できる資格

### 工芸士

「工芸士」は第三セクター(一財)京都伝統工芸産業支援センターが認定する資格制度。陶芸及び木工芸、竹工芸、金属工芸など、各工芸における技術力を学科や実技試験で総合的に審査するものです。(2級・3級・4級は在学中から取得可)



## 大学卒業資格取得率100%を実現するTASK独自のシステム

大学の講義はカリキュラムに含まれており、無理なくすべて学内で受講できます。

放送大学教養学部の中でも芸術に関連の深い「人間と文化コース」を専攻し学びます。

専門のチューターがサポートします。  
大学卒業資格を取得するための放送大学(国立)の授業には、チューターがついて、学びをきめ細かにサポート。毎年100%の取得率を実現しています。

同じ4年間でも これだけ差があります



## リカレント(学び直し)入学について

### リカレント(学び直し)生も大歓迎。さまざまな年齢・経歴の方が学んでいます。



長谷川 智洋  
陶芸専攻工芸コース  
3年生  
神戸大学法学部→社会人を経て入学

TASKでは、高校を卒業して入学される方以外にも、幅広い年齢層の学生が学んでいます。大学・短大卒業後や社会人を経験してからなど、他校と比べるとさまざまな経歴を持つ方の入学が多く、中には美術・芸術系大学を卒業して入学している方も少なくありません。

一般企業の総務部で事務職をしていましたが、陶芸を学びたくなりTASKに入学。20歳代から50・60歳代の幅広い年齢層の方が、リカレント入学をされています。リカレント生が集まって飲みながら伝統工芸について話すのも楽しみのひとつ。また、陶芸専攻は年齢の壁がまったく感じられず、皆が仲良く作業しながら切磋琢磨しています。

## リカレント入学 [大学・短期大学・各種学校・社会人からの入学] に関するQ&A

- |                                                                      |                                                      |                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| <b>Q1</b> 若い世代の人たちと上手くやっけていけるか不安です。                                  | <b>Q2</b> 卒業後の進路はどのようなものがありますか?                      | <b>Q3</b> 美術系大学出身者ですが、学んだことは生かせるのでしょうか。                         |
| <b>A1</b> TASKでは、社会人経験者が少数派ではなく、幅広い年代が在籍。各専攻での授業も少人数のため、打ち明けやすい環境です。 | <b>A2</b> 工房や企業だけでなく、独立やカルチャーセンターの講師など、さまざまな進路があります。 | <b>A3</b> 伝統工芸と現代的なデザイン・アートの融合は本校の学びのテーマのひとつ。作品制作に大いに活かされるはずです。 |



## 産官学連携のプロジェクトに積極的に参加。

TASKが技術習得の他にも力を入れているのが、産官学が連携して行う実践的なプロジェクトです。

寺院からの依頼を受けて仏像を納めたり、自分たちの作品を学外で展示するなど、

毎年、さまざまなプロジェクト活動を実施。学生たちのやる気を引き出し、腕を磨く場となっています。

### 「今年の漢字」和紙制作プロジェクト

毎年、年末に清水寺で発表される「今年の漢字」。25年目を迎えた2019年、公益財団法人日本漢字能力検定協会から京都の手漉き和紙を使いたいとお声がけいただき、TASKの和紙工芸専攻がその制作を任せられました。授業で制作している和紙と比べ6～8倍と、全く経験のない大きさに学生たちも制作できるのか心配そうでしたが、講師の指導の下、無事完成し納めることができました。



※2020年も引き続き、本校で制作した和紙が使われました。



### 穴窯プロジェクト

陶芸専攻の学生と講師によって、約1年間かけて、全国でも稀な本格的穴窯を制作しました。

これにより在学中に穴窯で焼成を学ぶことができ、将来に役立つ技術や知識が身につけられます。



穴窯とは、山の斜面を利用して作った窯で、薪を燃やして作品を焼きます。今から1300年以上前、奈良時代や平安時代に行われていた焼成方法とほぼ同じです。



陶芸専攻の学生は年に1度、この穴窯で実習。4日間交代しながら高温を保ち、焼成しています。

## 学びを実践の場で磨いています。

### 清水寺作品展

世界遺産・清水寺の「出世大黒天像」の修復をTASKが依頼され行ったことをご縁として、2009年より清水寺の経堂(重要文化財)をお借りして、TASKの作品展を毎年開催。期間中には5,000人を超える方々にご来場いただいています。12回目の開催となる今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、厳選された優秀作品6点と和紙工芸専攻の学生たちによって制作された青菊の合計7点を展示しました。



### KIMONOプロジェクト

各国の文化・歴史・自然をテーマにした着物を制作し、世界をひとつにしようとする一般社団法人イマジンワールドの「KIMONOプロジェクト」。TASKの京手描友禅専攻は全国で唯一、学校としてこのプロジェクトに参加。セルビア共和国をイメージした着物を制作。同国が出場した女子ハンドボール世界選手権大会で披露しました。



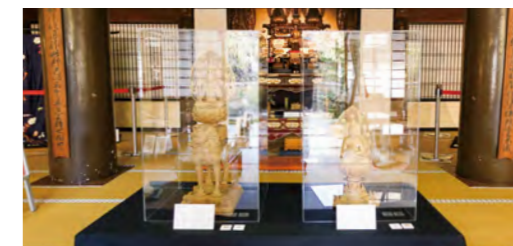
### くろまごき ちょうようさい 車折神社「重陽祭」で青菊奉納

車折神社から依頼を受けて「重陽祭で奉納する青色の菊」を本校和紙工芸専攻の学生4名が制作しました。青菊には、コロナ治療の最前線で苦労されている医療現場の安寧を祈るという意味も込められています。青菊は花芯、花びら、葉、がくなどのパーツを全て本校で漉いた和紙を使って手づくりで制作。葉の中心には針金を通し、花びらにはコテでカールをつけるなどの工夫を加えたほか、青色の染料をスプレーで吹きかけ仕上げには防水加工を施しました。



### みょうけんじ 妙顯寺作品展

京都市上京区にある古刹、妙顯寺の秋の特別公開に合わせ、客殿にて京都伝統工芸大学の「第3回妙顯寺作品展」を開催しました。今回は学生作品12点を展示。夜間のライトアップ期間中でもあり、多くの来場者を魅了しました。



### りゅうがんじ 龍顔寺・薬師如来プロジェクト

「緊急SOS! 池の水ぜんぶ抜く大作戦」というテレビ番組からスタートしたプロジェクト。長野県上田市「龍顔寺」にある「不動の池」から豪雨で池に崩落した樹齢300年のご霊木を用いて、薬師如来三尊像を共同制作し、同寺に奉納しました。



その後、「菊の節句」とも呼ばれる重陽の節句の9月9日、京都市右京区嵐山にある車折神社にて、神事「重陽祭」が営まれ、本校の学生が制作した青菊が奉納されました。高田能史宮司が祝詞を読み上げた後、青菊を手に持った舞人が、舞楽を奉納しました。

